

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 01020020

政策目標	4	つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	21	情報通信網の整備・充実	事業優先度	A		
単位施策	1	地域情報化の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	光通信設備等運営事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	1 総務課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	光通信設備の安定的運用			#N/A		
事業目標	正常稼働		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
住民参加	無		関係例規・法令名	無		
住民協働	無		関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	IRU契約により提供している超高速ブロードバンド サービスを、安全かつ安定的に運営する。	情報通信設備等保守 光ケーブル網総点検	情報通信設備等保守	情報通信設備等保守 管理車両車検	情報通信設備等保守	情報通信設備等保守 管理車両車検
	事業費(千円)	39,000	7,800	7,800	7,800	7,800
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	39,000	7,800	7,800	7,800	7,800
実 績 事 業 費	事業費(千円)	17,774	11,815	5,959	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	15,015	9,056	5,959			
一般財源	2,759	2,759				
関 連 事 項	特定財源の名称 光ファイバー芯線等貸付 収入	【評価・実績】	(実施内容等) 情報通信設備等保守	(実施内容等) 情報通信設備等保守	(実施内容等)	(実施内容等)
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	正常稼働	正常稼働	正常稼働	正常稼働
		年度達成率	151%	76%	0%	0%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	30%	46%	46%	46%
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆			

事業名	光通信設備等運営事業	評価者	管理職 職氏名	総務課長	佐竹 邦夫
		評価者	作成者 職氏名	情報統計係長	樋山 隆志

様式1  
平成26年度実施  
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	光ブロードバンド利用可能世帯率								
【抱える課題やニーズは】	光通信網の安定運用のため、自然災害等による通信遮断に対する早期発見、早期復旧が求められている。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	すべての町民が等しく、いつでも光ブロードバンドを利用することができる環境の維持。	① 光ブロードバンド環境整備(利用可能エリア率:居住域)	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成26年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>100%</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>100%</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成26年度	目標値	100%	実績値	100%	達成度	100.0%
目標年度	平成26年度										
目標値	100%										
実績値	100%										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	光ブロードバンドを活用した各種サービスが利用でき、都市部との情報格差解消が図られ、安心して住みよいまちづくりが推進される。	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成26年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	平成26年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	平成26年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	光ブロードバンド環境整備	新規加入に伴う光通信設備の増設、自然災害等に伴う光通信設備の補修を行い、ブロードバンドサービスの安定した提供に努めた									
	IRUブロードバンドサービスの提供	安定的なブロードバンドサービスの提供を図るため、民間通信事業者とのIRU契約により、光ブロードバンドの運用を行った									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町が整備した光通信設備を活用した光ブロードバンドサービスの安定的な運用により、都市部との情報格差解消を図るとともに、町民が等しくICTの恩恵を受けるための重要な事業である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	光通信網は、町内全域(居住域)に整備し、既存町民の利用希望者全員へ光ブロードバンドサービスの提供を行っている。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	IRU契約による光ブロードバンドの提供により、運用に係る保守料金及び施設等の拡充整備が捻出できるばかりでなく、民間通信事業者によるサービスも都市部と同様に利用できているなど、今後の利活用についてさまざまな可能性が広がった。
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	町内全域(居住域)において、光ブロードバンドサービスが希望者全員に利用できる環境にあり、地域間におけるサービス提供に差がなく、利用に関する公平性は保たれている。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等  
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
町内全域で光ブロードバンドの利用が図られ、光通信網の切断等の不足の事態にも、早急な対応を行うなどの安定運用に努めることができた。		

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持	光ブロードバンドサービスを安定的に運用するため、今後においても保守事業者との情報共有、連携を密にする必要がある。
---------	--

※展開方向の区分  
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
 終了     休止     廃止